

常新新聞

刊夕日五十月六

一部金貳錢 廣五號十二
 一ヶ月廿錢 告字詰一行
 郵税五厘 料告字詰一行
 五十錢 日刊休
 日曜大祭 福島縣石城郡平町長藤町三五
 發行所 常盤毎日新聞社 電話六三〇番

發行兼編輯人 川崎文治

本社 同前地 (電話六三〇番)
 印刷所 常盤毎日印刷所

農民の營養食

田中五郎

農民の營養に關する知識は一般に缺乏してゐる農村住民の日常の食物と都市生活者のそれと比すると著しい相違がある、殊に日常の副食物に於ては甚だ粗食で殆ど動物性食品等を用ひてゐないこれは農村住民の体格に影響を生じ殊に發育期に於ける兒童の營養不良は重大なる影響を生じ農村衛生上顧る考慮すべきものがある、吾國の農村に乳兒が榮養不良の爲め死亡するのが多いのは一は母親の營養が

佳良でない證據である従つて兒童の營養の佳良でないのは當然である試みに農村の小學校兒童の辨當を觀察すれば直に是が判明する内務省の調査に依れば或る一箇村の小學校兒童の辨當はその八十プロセントの副食物が梅干だけであると云ふ事に依つても他は一般に想像される農村に於いては魚肉獸肉その他動物性食物は甚だ少いが植物性食品芋大根等の供給は十分であるしかし人体の要求する營養品は混合を必要とする以上動物性食物の必要な事は言ふまでもない現在農村住民体格の劣つてゐるのに顧み農村

に安價な動物食品を供給する方途を講ずる事は頗る重要な問題である次に飲料水については内務省の調査農村九箇村のうち或るものを除いた各村は何れも不潔なる井水を用ひてゐた是が化學的試驗の結果に依ればこのうち試験に合格したるものは僅に四割に過ぎなかつたと云ふ殊に甚だしいのは農村中往々にして河水を使用するものが少くない事である是等は常に傳染病の危険が伴つてゐる農村民中に寄生虫保有者の多いのは飲料水に依るものである事は既に明白である

磐城共濟病院

院長醫學博士 助川喜四郎
 副院長醫學博士 藤井秀旭
 東京醫學士 相澤信朗
 順天醫學博士 大瀧潤家
 外科愛知醫學士 竹内俊一
 醫學博士 小池徳造
 慈惠會醫學士 河合健吉
 耳鼻喉科 千葉醫學士 長島寅雄
 醫學博士 男爵 松本本松
 醫員齒科部 澤口清治
 藥劑士 吉本孝平

(新設)
 産婦人科 松本本薫
 産婆 遠西をわ
 同 松本妙子
 マッサージ 大塚喜一郎
 衛生試驗所血液試驗及細菌試驗其
 他ノ依頼ニ應ズ
 産婆看護婦講習學生募集三十名

痴人の手記

横山アキラ著
 定價 一部金二一圓
 六判二百頁
 發行所 磐城之實業社
 平町古鍛冶町
 電話五二二番

東京岡田屋出張大賣出し

六月廿五日迄
 平町一丁目 磐城通信社
 購入の好時節
 最近流行の和洋家具類
 室内裝飾品に至るまで
 良品を山の如く而も格別
 の廉價を以てお馴染
 の岡田屋が御伺ひ致し
 ました

涼しい夏服!!

今年の夏服を種々取揃へました。夏服は斯界に定評ある……正札堂の既製品をた召し下さい。

- アルバカ上衣 ▲……………安うり
- 白セルズボン ▲……………早うり
- 黒セルズ上衣 ▲……………早うり
- パンピース上下
- ヘイヤクロス上下
- 霜降學生服
- 其他外皮類

平町四丁目停車場通

初夏ノ快感!!

變り編一文字帽
 輕ク涼シイ
 小供帽子色々
 ポイル
 縞ワイシャツ
 不二絹
 絹編ネクタイ
 婦人洋傘

平町四丁目

に鶴屋商店

電話百四十番

新着發賣!!

「印除虫粉」
 「印のみこり粉」
 「印蚊こり線香」

斯界の權威たる最優良品好評噴々たり御愛顧使用を謝す

紀洲大正除虫粉 株式會社

代理 西村屋藥舖
 平町二丁目 電話三番

着尺モスリン

江戸好中形
 粋な手拭中形
 納小紋

平 龜出屋

山崎印油



美味 經濟

元 造 釀
 社會名合崎山屋鹽
 番〇一園 電話
 番七二園

